

社会分野

地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域社会との関わり（芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）

広島ガスは、地域に深く根差した企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援（次世代教育への取り組み）」の4分野を軸に、2030年ビジョンで設けた新たな枠組みである「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」を意識した取り組みを展開しています。



→ このまちと共に成長・発展

芸術・文化振興、地域振興

「第34回広響ホットコンサート」の開催

中国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

2020年度は「このまち応援シンフォニー」と題し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるこのまちを応援するため、十分な感染拡大防止策を講じたうえで、広島文化学園HBGホールにて開催しました。指揮者の山下 一史氏とピアノリストの小林 愛実氏を迎え、ご来場いただいた約590名のお客さまに美しい旋律をお届けしました。



コンサートステージ

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国との友好・信頼関係を深めるとともに、両国間の交流推進を目的として、1996年から広島インドネシア協会の事務局を運営しています。特に、在広島インドネシア留学生会、広島で働くインドネシア看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある会員などと連携し、さまざまな活動を行っています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止や延期となりましたが、「インドネシア文化に親しむ会」では、十分な感染拡大防止策のもと、インドネシア映画を会員の皆さまと鑑賞することができました。また、コロナ禍で生活に大きな影響を受けた広島のインドネシア留学生（特に私費留学生）を支援するため、中止となった事業予定相当額を在広島インドネシア留学生会に寄付しました。



インドネシア文化に親しむ会（映画鑑賞会）



在広島インドネシア留学生会に支援金目録を贈呈

「このまち思い えがお食堂」を通じた温かいコミュニティづくり

未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成や、ずっと住み続けたいと心から思えるこのまちの明るい未来づくりを目的として、こども食堂「このまち思い えがお食堂」（事務局・広島ガス）が、2020年7月、ガストピアセンターにオープンしました。毎月第1または第2土曜日に、食材やお弁当の提供をはじめ、学習支援や体験遊びなどを実施しています。



ボランティアによる弁当調理



食品配布



えがお企画（体験遊び）

ひろしまフラワーフェスティバルへの協賛

毎年、ひろしまフラワーフェスティバル（5月3日～5日開催）にステージやブースの出展や、神楽フェスティバルへの協賛などを通じて、地域の皆さまとともに地域活性化に貢献しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて開催規模縮小（神楽フェスティバルは中止）となり、2020年度に続いてステージ・ブース出展などは実施できませんでしたが、「このまち思いSDGs実行宣言」イメージイラストの看板などを掲示しました。



スポーツ振興

広島ガスバドミントン部 S/Jリーグ上位をめざして

バドミントン部は、1995年3月に創部した女子実業団チームです。国内最高峰である「バドミントンS/Jリーグ」などの上位をめざして、日々活動を続けています。

2020年12月には、「第74回 全日本総合バドミントン選手権大会」において、下田菜都美選手が3位に入賞し、2021年日本代表選手に選出されました。



S/J LEAGUE WEST in 山口2020



日本代表に選出された下田菜都美選手

広島ガススキー部 海外遠征など競技活動・地域貢献活動

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガススキー部に所属し、数々の国際大会に出場しています。

2020年度は世界選手権7位入賞、ワールドカップ銅メダル獲得などの成績をあげました。ひろしま観光大使としても活動しており、子ども用オリジナルスノーボード用品の貸与企画において、子どもたちへの動画メッセージを届けるなど、広島での地域貢献活動にも力を入れています。



SAJ令和3承認第00217号(ロイター=共同)



竹内智香選手

動画「うち時間でトレーニング」を公開

バドミントン部とスキー部は、コロナ禍でのうち時間を楽しく豊かに過ごしていただくため、当社フェイスブックにおいて、「うち時間でトレーニング」を公開しました。



バドミントン部は日頃から実践している各種トレーニングを、スキー部はアスリートヨガのインストラクターの資格も持つ竹内選手が基本ポーズを紹介し、多くの方にお楽しみいただきました。

サンフレッチェ広島 「広島ガススポンサードゲーム」を開催

「サンフレッチェ広島」のサポートと、スポーツを通じた地域活性化のため、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2020年度は観客収容人数や実施イベントなどにさまざまな制限があるなか、広島ガスWeb会員や当社役職員をはじめとしたサポーターがエディオンスタジアム広島で、精一杯の熱い心の声援を送りました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2020年8月)

広島東洋カープ 「広島ガス このまち応援スポンサードゲーム」を開催

広島東洋カープの応援を通じて、広島のまちを盛り上げるため、2018年度から毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2020年度は、コロナ禍のなか十分な感染症拡大防止策を講じて広島市民球場(MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)に熱いカープファンが集結し、応援を楽しみました。



カープスポンサードゲーム(2020年10月)

教育支援(次世代教育への取り組み)

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、食育、火育、エネルギー・環境教育、防災教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。

次世代教育活動をまとめたパンフレットやホームページなどを通じて、小学校・中学校を中心としたさまざまな対象学年や習熟度に応じて選択いただけるよう、出張授業などを紹介・募集しています。



次世代教育プログラム
パンフレット



ホームページ「こどもエネルギー ACTION!!!」
<https://www.hiroshima-gas.co.jp/action/>

出張授業

エネルギー・環境教育

サイエンスショー【小学生・中学生対象】

冷熱・燃焼実験や燃料電池実験を通じて、天然ガスの特性やエネルギーや環境の大切さなどをわかりやすく伝え、理科や科学の楽しさを体験することができます。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

技術研究所 理科実験授業【小学生・中学生対象】

技術研究所の職員が、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」についてわかりやすく伝えています。

防災教育

ライフライン防災教室【小学生・保護者対象】

広島市水道局、中国電力ネットワーク(株)と広島ガスが3者合同で、小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。災害が起こった際に役立つ、ガス・電気・水道に関する知識の提供を通じて子どもたちの防災意識を高めることを目的に実施しています。

また、2016年度からは広島ガス単独での広島ガス防災教室も実施しています。



ライフライン防災教室の様子

サイエンスショー／広島ガス防災教室のDVD制作

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの出張授業が実施困難となったため、理科実験「サイエンスショー」と、学校現場や地域でもニーズの高まっている「ライフライン防災教室」のDVDを制作し、希望する学校に配布しています。



食育

エコ・クッキング※教室【小学生・中学生対象】

食べ物やエネルギーを大切にすることを学び、ムダのない調理の工夫などを通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片づけに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です。

味覚教室【小学生対象】

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。



味覚教室の様子

火育

火育教室【小学生対象】

炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、さまざまな炎の観察や比較、火おこし体験などを通じて「火に親しみ、火を学ぶ」体験ができます。



火育教室の様子

科学講座

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)【小学生対象】

科学を通じて子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携し、広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施しています。例年16名の小学5・6年生を対象に年間17回の講座を行っていますが、2020年度はコロナ禍のため講演会に変更し、科学の魅力を広くお伝えしました。



SSM講演会の様子

情報発信・お客さま満足度向上の取り組み

ステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIR・環境保全に関する情報開示、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに速やかかつ確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



記者会見



ホームページ「プレスリリース」

IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、広島ガスの活動内容や財務状況の全容を開示しています。



株主向け報告書

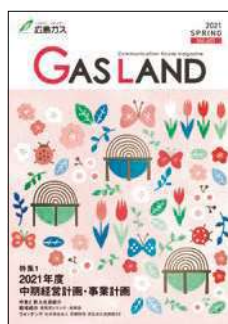


(中間)

(期末)

グループ広報誌

グループ役職員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

消費者団体との懇談会

当事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため（公社）広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



（公社）広島消費者協会との定例懇談会

企業スローガンの浸透に向けて

企業スローガン「このまち思いエネルギー。」に込めた思いをより多くの皆さまにお伝えするため、アニメCM「このまち思い物語」を放映しています。また、2018年度からは新たにエピソード募集キャンペーンを実施しています。さまざまな媒体を通じて、広島島の魅力をお伝えするための活動を展開しています。

【CMライブラリー】



【エピソード募集結果】



エピソード募集キャンペーンチラシ



ソーシャルメディアでの情報発信

お客さまへの最新情報を発信するため、ホームページに加え、Facebook、Twitter、Instagram、YouTubeを開設しています。2020年度にはInstagram開設記念として、「このまち思いクッキングライブ」と題し、ショールームからクッキングイベントをライブ配信しました。

また、2021年6月から、広島ガスオリジナルキャラクター「ガスキー」がお送りする「食」のエンターテインメントをYouTubeにて提供を開始しました。



広島ガス公式Twitter
@hirogas_saigai



広島ガス公式Facebook
@hiroshimagas



広島ガス公式Instagram
@hiroshima_gas



広島ガス公式YouTube



YouTubeチャンネル「ガスキーちゃんねる」



ガスキー

ガス展開催

例年、秋に、ガスのある快適で環境にやさしい暮らしを提案する「ガス展」を開催し、お客さまへの感謝の気持ちをお伝えしています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、代わりに専用フリーダイヤルやガス機器受付サイト「広島ガスWEBモール」(P.8参照)を活用して、ガスコンロやガスファンヒーターなどを特別価格で販売する「このまち思いセール2020」を実施しました。

求める人材像「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」

広島ガスが求める人材像は、「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」です。具体的には、謙虚さや感謝の気持ち、思いやりを兼ね備えることによる高い人間力と、必要な知識、責任感、使命感を持つことによる高い現場力を有しており、主体的に考え行動し、さまざまな仲間と一体感を持って協働していけるバランスの取れた人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

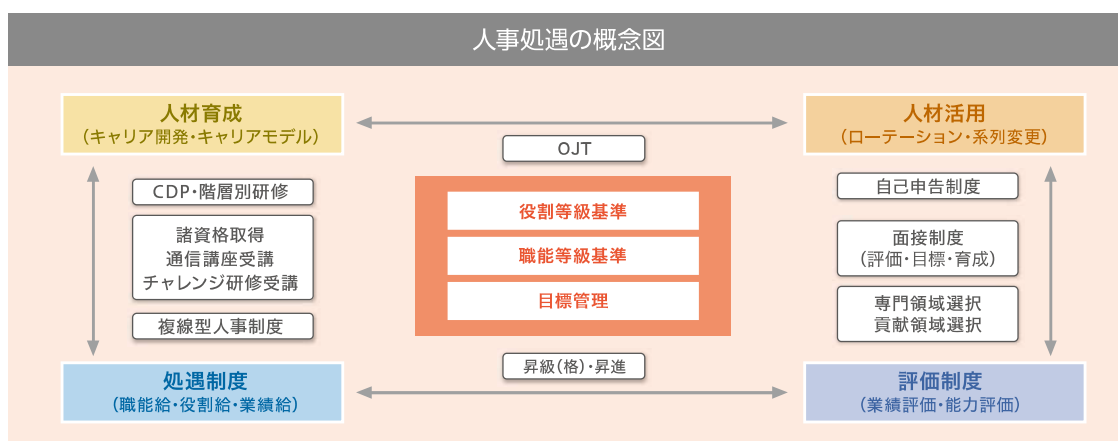
ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要であるため、従業員は全員が総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望もふまえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

人事処遇制度

2030年ビジョンの基本方針の一つとして「地域に必要とされる創造性豊かな人材の育成と活用」を掲げています。

会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評定者に対しては、新任管理職研修などの機会を利用し、評定者訓練などを実施しています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【研修体系図】

	新入社員	管理職
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修	主任研修、係長研修、課長代理研修、新任管理職研修、管理職研修
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修)、CDP3 (入社3年目研修)	CDP30 (30歳次研修)、CDP40 (40歳次研修)、CDP50 (50歳次研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など	
ガス技能研修 (社内資格研修など)		技能資格研修〈営業(機器関係など)〉・〈供給(配管関係など)〉 技能向上研修(スキルアップ)〈営業〉〈供給〉・オーダーメイド研修 など
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)		各種部門内研修・各種社外講演会
人権啓発推進		コンプライアンス研修会
国内外留学		キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学
自己啓発支援		通信講座受講支援・資格取得支援・マネジメント力養成講座・オンライン英会話
その他		メンター研修・チーフ研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者など

働きやすい職場環境をめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

働き方改革への取り組み

「働き方改革」については、2017年度から広島ガスとしての取り組みを開始しており、①総労働時間の短縮、②多様で柔軟な働き方への環境整備、③多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)の3つの取り組みを軸に活動を進めています。

「決められた時間で仕事をやりきる意識・風土への改革」をめざし、従業員がやりがいや働きがいを持ち、生産性の高い働き方を実現していきます。

① 総労働時間の短縮

ノーマル残業デー

- 部署ごとに残業をせず定時での退社を推奨する日を設定

② 多様で柔軟な働き方への環境整備

フレックスタイム制度

- 1日の所定労働時間を固定せず、1ヵ月単位で総労働時間を管理していく制度
- 社員一人ひとりが、自分の労働時間に裁量を持つことで、効率的な勤務が可能

育児短時間フレックス勤務制度

- 社員の育児支援策の一環として、1日の所定労働時間を短縮した4種類の勤務パターンを設定。仕事と育児の両立を支援

【育児短時間フレックス制度利用者の推移】

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
育児短時間フレックス利用者(人)	11	12	13	17	17

テレワーク勤務制度の導入(2021年1月)

- 新たなワークスタイルへの対応と非常時の事業継続体制の整備を進め、「在宅勤務」「サテライトオフィス勤務」「モバイル勤務」の3つを導入し、柔軟な働き方を推進

③ 多様な人材の活躍推進(女性の活躍推進)

女性の採用に占める割合を30%以上とする

女性の職域を全部門、グループに拡大する

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間フレックス勤務制度」の導入や、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりに推進しています。これらは男女ともに働き方や育児・介護参加の視点による取り組みであり、社会的責任をはたす上でも大変重要であると考えています。

【育児休業制度利用者と復職率の推移】

区分	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
育児休業制度利用者(人)	2	5	4	8	7
育児休業制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

社員の声 育児休暇を取得

2019年11月に第一子を出産し、育児休暇を取得後2020年10月に復職しました。復職後にはこれまでと異なる働き方になることに不安を感じていましたが、短時間勤務制度を利用し職場の方々にフォローいただいているおかげで、仕事と育児の両立に充実した気持ちで取り組んでいます。子どもの体調不良での早退や急なお休みをいただくこともあります。上司をはじめ職場の皆さまがご理解くださり温かい言葉をかけてくださることに大変感謝しております。限られた時間の中ですがその分集中して業務に取り組み、仕事も子育てでも楽しんでいけたらと思います。



販売推進部

力田 まりな

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
期末要員数[人]	669(119)	669(127)	661(133)	672(137)	685(147)
平均年齢[歳]	43.4(39.9)	43.5(39.7)	43.3(39.5)	43.6(39.5)	43.4(39.0)
平均勤続[年]	18.7(15.2)	18.9(14.5)	18.6(14.1)	18.4(13.3)	18.4(13.1)
新卒採用[人]	17(4)	21(7)	22(7)	20(8)	24(10)
定年退職[人]	10	12	11	8	8
(うち再雇用[人])	(7)	(10)	(9)	(7)	(8)
障がい者雇用数[人]	14	15	17	18	18

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を順守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広島ガス人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりに力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎年実施しており、その結果をもとに、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(同和問題の解決をめざす広島企業連絡会)に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

労働安全衛生活動の方針と体制

基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令順守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを順守する。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

推進体制

安全衛生管理組織のもと、本社地区の安全衛生委員会(担当役員参加)を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全衛生活動を推進しています。

また、経営会議への安全衛生活動状況の定期報告などを通じて活動内容の充実に努めています。

労働災害の防止

安全意識の向上

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、2016年から毎年「安全大会」を開催するなど、労働災害防止に努めています。

健康経営に向けた取り組み

健康への投資を行うことは、役職員の活力や日々の生産性の向上など、組織の活性化をもたらすこととなり、結果的に業績や株価といった企業価値の向上につながるとの考えのもと、2021年より健康経営に向けた取り組みをスタートしました。

従業員の健康の保持増進に向けて、産業保健スタッフ(産業医・保健師)が中心となり、取り組みを推進しています。

【重点項目と評価項目】

重点取り組み項目	評価項目
1.生活習慣の改善	喫煙率の低下 ウォーキング実施者の増加
2.ストレスチェック結果の向上	ワーク・エンゲイジメントの向上
3.健康診断結果の改善	法定項目有所見率の低下

重点取り組み項目については、グループ各社においても2030年までの目標値を設定し、グループ全体で取り組みを推進しています。



産業医の健康指導

【主な取り組み】

◎ 喫煙率の低下

構内喫煙場所の屋外化の推進、
禁煙指導の実施

◎ ウォーキング実施者の増加

健康保険組合と連携したウォーキングキャンペーンの実施、健康情報の発信

◎ メンタルヘルス対策

全従業員を対象としたストレスチェックの実施、新入社員、人事異動者、長時間労働者に対するフォロー実施、外部機関の相談窓口設置

◎ 有所見率の低下

定期健康診断後の全従業員を対象とした面談などのフォローを行い、食事指導や運動その他日常生活指導を実施